

白井市総合教育会議会議録

○会議日程

平成28年5月30日（月）

白井市役所4階第1会議室

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 議題

(1) 白井市教育大綱（案）について

○出席委員

市長	伊澤 史夫
教育委員長	石亀 裕子
教育委員	小林 正継
教育委員	高城 久美子
教育委員	川嶋 之絵
教育長	米山 一幸

○欠席委員

なし

○出席職員

事務局	
教育部長	染谷 敏夫
書記	武藤 善勇
書記	品川 太郎

午前10時05分 開 会

○開会宣言

○事務局 本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただ今から、平成28年度第1回 白井市総合教育会議を開会します。

はじめに、伊澤市長より、ご挨拶をお願いします。

○伊澤市長 おはようございます。本日は大変お忙しい中、第1回の総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。

現在まで、この会議の大きな目的の一つであります教育大綱について検討を重ねてまいりまして、今日、皆さんと議論いただき、この案を正式決定と、そのような運びにしたいと考えております。

委員の皆様方には忌憚のない意見をお願いします。よろしくをお願いします。

○事務局 ありがとうございます。

これから議題に入りますが、議事の進行につきましては、会議を主催する伊澤市長にお願いしたいと思えます。

それでは、議事の進行につきましては、市長よろしくをお願いします。

○議題（1）白井市教育大綱（案）について

○伊澤市長 はい、わかりました。

それでは、これから議題に入ります。皆さん、よろしくをお願いします。

まず、（1）の教育大綱（案）について。

これは、前回3月23日、この会議において、案を決定してパブリックコメントを実施してまいりました。

それらを踏まえて、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、議題（1）白井市教育大綱（案）について、ご説明します。

初めに、前回の会議において、白井市教育大綱（案）が決定しましたので、この大綱（案）に関するパブリックコメントを実施した結果について、ご報告します。

まず、資料2をご覧ください。

パブリックコメントの募集期間については、4月15日金曜日から5月2日月曜日までの延べ18日間でございます。

大綱（案）の閲覧場所については、市役所教育総務課窓口及び1階情報公開コーナー、文化センター図書館、西白井複合センター、白井駅前センター、桜台センター、富士センター、公民センター、白井コミュニティセンターの8施設と、市のホームページでございます。

募集結果については、市民から意見書の提出はありませんでした。

この募集結果の公表については、本日の会議後、速やかに市ホームページや市役所1階情報公開コーナーにおいて、公表することとしています。

なお、パブリックコメントの実施に関し、市民への周知については、広報しろい4月15日号や市ホームページにおいて、大綱（案）に係る意見を募集する旨をお知らせしました。

次に、資料1をご覧ください。

前回の会議においても、大綱（案）についてご説明しましたが、改めて大綱（案）についてご説明

します。

2 ページをご覧ください。

1、「教育大綱の位置付け」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、総合教育会議において、市長と教育委員会が協議・調整を尽くし、大綱を策定するものでございます。

2、「大綱の実施期間」については、第5次総合計画の前期基本計画に併せて、策定の日から平成33年3月31日までとしております。

3、「施策の実施」については、第5次総合計画の前期基本計画に掲げる学習・教育分野の重点戦略や分野別の基本戦略の達成に向け、具体的な事業を実施していきます。

4、「計画の体系」については、施策の実施をイメージ化したものでございます。

次に、3 ページをご覧ください。

5、「教育方針」については、これまでの教育方針を継続することとしております。

そして、教育方針のもと、基本的な目標について4項目を定めております。

基本的な目標については、(1)学校教育の充実、(2)生涯学習の充実、(3)スポーツの振興、裏面になりますが、(4)文化芸術活動の支援でございます。

(1)の「学校教育の充実」については、子供の確かな学力と豊かな心と体を育むとともに、地域に根ざした教育を推進します。

また、子供が安全で安心して学べるよう教育環境を整備します。としています。

(2)の「生涯学習の充実」については、さまざまな年代にわたる市民の多様なニーズに応え、生涯にわたる学習機会の充実を図るとともに、学習した成果を市民生活や市民活動などに生かせるしくみづくりを進めます。

また、学習活動をしている市民が活動しやすい環境づくりを目指します。としています。

(3)の「スポーツの振興」については、より多くの市民に、安心・安全にスポーツに親しめる機会を提供するとともに、子どもから高齢者まで誰もが生涯を通してスポーツに親しみ、健康づくりや地域での交流が図れる環境づくりを目指します。としています。

(4)の「文化芸術活動の支援」については、市民による文化活動を支援し、多様な文化・芸術に親しめる機会を提供します。

また、郷土の歴史や文化遺産の調査・保存を推進するとともに、市民と協働しながら文化財の保護活動を行います。としています。

次に、4 ページをご覧ください。

第5次総合計画の前期基本計画における学習・教育分野の「重点戦略」について、抜粋しております。

第5次総合計画の将来像である「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向けて、前期基本計画における学習・教育分野で重点的に取り組んでいく戦略を定めております。

戦略1の若い世代定住プロジェクトについては、取組目標を、子ども一人一人とさらに向き合い、「子どもの教育なら白井」といわれるまちづくりを進めます。

戦略3の拠点創造プロジェクトについては、取組目標を、各地域に大小様々な交流の場やサービス提供の場などをつくり、充実させることで、安心して快適な生活を送れる地域づくりを進めます。

以上が、教育大綱（案）の概要でございます。

この大綱については、市の教育に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもので、大綱を実現するための具体的事業については、資料1-①にありますように、それぞれ前期基本計画や実施計画と連携して行っていくものと捉えています。

最後になりますが、本日は、これまで協議、検討を重ねてまいりました教育大綱（案）について、パブリックコメントを実施した結果を踏まえて、委員の皆様のご合意をもって、決定をしていただきたいと考えています。

以上で、説明を終わります。よろしく申し上げます。

○伊澤市長 はい、ありがとうございました。

ただ今、パブリックコメントの実施結果も含めて、説明がありました。

委員の皆様から、ご意見やご質問があればお願いします。

○川嶋委員 パブリックコメントの実施結果を見たときに、ちょっとがっかりしてしまいました。

意見書の提出件数はゼロということですが、これは毎度このような反応ですか。

そのような反応であれば、もう少しやり方を変えていく必要もあるのではないかと考えたのですが、無関心なのか、これに納得しているのかはわからない訳です。

市のホームページを、子供を学校に通わせている親がどれ位見ているのか、ということは非常に少ないと思いますし、パブリックコメントで意見を欲しいと思っているのであれば、もう少し閲覧するところをホームページ以外でも検討してみるとか、投げかけてみるとかしてもよかったのではないかと思います。いかがでしょうか。

○事務局 今回、パブリックコメントを実施して、内容的には、十分周知はされていたと考えております。

市の市民参加のあり方でございますけれども、全てがパブリックコメントというような形式で、今まで全体の流れの中では行っていますが、市民参加の実施手法については7項目か8項目あったと思います。

今年度から、スタートしました総合計画については、勉強会だとか、各地域のタウンミーティングとか、そのような市民参加の手法も取り入れてきました。

このように、パブリックコメントが全てではなく、それぞれ市民参加による審議会、あるいは勉強会、タウンミーティング等、色々な手法があると思いますので、今後については、そのような手法の選び方も検討していかなくてはいけないと考えております。

今回の教育大綱（案）については、ホームページ、それから各出先機関等にも配付をして周知をしたということで、出来る限りの対応は行ったと捉えたいと考えております。

以上でございます。

○伊澤市長 よろしいですか。

○川嶋委員 はい、ありがとうございます。

○米山教育長 3月議会でも、パブリックコメントがたくさん出される案件であったり、ゼロだったり、多分、答えていると思います。

それで、特殊な案件については、意見等が多く来ますけれども、それ以外は全然来ないというようなところもありますので、興味を持っていないから来ないということではなくて、多分、パブリック

コメントが出るということで、関心を持たれている方はいますので。

一定以上の周知は行いましたので、これでやってみるということです。

それと、初めての大纲で、法律上も初めてなので、多分その辺についても、コメントしにくいところもあったのかなと思います。

1回目は、これでスタートして、今後、動きがあれば修正を加えていく場合、色々な形で変化があった場合については、様々な意見が出てくるのかなと思っています。

○伊澤市長 そのほか、ございますか。

○米山教育長 今後の周知方法ですか、先ほど、事務局から説明がありましたが、市教育委員会において、点検評価の事務は議会に報告をしなければいけないということがありまして、点検評価については、法律では指定はされていないけれども、やはりPTA連絡協議会等には会議の中で、私から話をさせてもらっているということがあります。

大纲については、市ホームページなどで周知を行うだけではなくて、法律上、市議会に報告をしなければいけないのかどうか、確認をしたいと。

また、PTA連絡協議会、他団体等にはどのような形で、ペーパーとして、これを配付するのかどうか、今後の流れ、方向性を答えてください。

○事務局 策定後の周知でございますが、まず議会につきましては、決定された大纲について、総務部を通じて議会の方に策定をしましたということで、文書により送付をする予定でございます。

それから、教育委員会関係、市民の方々への周知でございますけれども、まずは教育委員会関係につきましては、学校については校長会や教頭会での説明、それからPTAを含めたところでの説明をしたいと思っています。

それと、もう一つは、毎年白井の教育という冊子を作成しております。

今年は、教育委員会制度が10月以降に変わってきますので、それと合わせて、白井の教育という冊子を作成後、色々な方面に配布をしたり、配置をして、市民の方々へ周知を図っていきたいと考えています。

さらに、市のホームページや広報紙等において、周知を図っていく予定でございます。

○伊澤市長 そのほか、ありますか。

○石亀委員長 自分達も文科省職員の話を知ったり、これまでに色々審議してきましたけれども、話されていることが大き過ぎるというのか、具体的にピンポイントで、このことについてと言われると、その方にとって身近な部分については、多分色々具体的な意見とか、要望とかはあると思いますけれども、大筋ということで見たときには問題はないかなと、そういうレベルの反応だと思います。

教育長も言われたように、これから、この大纲が具体化していく中で、また新しく出てくる意見、若い世代がどんどん成長していくことにしたがって、出てくるような意見をうまく吸い上げていくことによって、さらにこれを充実して、実現できるような体制づくりについて、今後、考えていくことで、より良い教育大纲に基づく、まちづくりができていくのかなと思っています。

すごく焦って、色々ということではなくて、今までずっと根付いて、良い方向に持っていこうとやってきたことが、ここにはあるという自信を持ちつつ、やっていけばいいのかなと思います。

○伊澤市長 ありがとうございます。

先ほど、事務局から説明したように、4月から開始した市総合計画と方向性が同じ方向に向いていますので、まちづくりと教育も合致していけるということで、総合的に整合が取れて、良い方向に、一つの方向に向かっていく感じはします。

あとは個々ですよ。個々の施策、市教育委員会において、その部分をどうしていくのかということは、市教育委員会の中で議論をして、やっていただければと思っております。

○米山教育長 先週の金曜日、皆で研修を受けて、文科省の審議官の説明を聞いてきましたけれども、やはりこの大綱ができたことによって、今までは単に教育委員会で計画を作成して、自分達で進めてきたと。

今度は、この大綱ができましたので、予算の編成権と条例の提案などの権限を有している市長が、まちづくりを含めて、一緒になった教育を進められることになったということで、文科省が言ったから、自分達で言っているのかもしれないけど、大綱は大変意義深いということです。

それで、市長が策定した大綱について、教育委員会が執行機関として、実質的に議論をする中で、事業化に向けて、この大綱を推進していくということです。

今までは、予算と執行機関、合議機関と別々に進んでいたことが、この大綱によって、一緒になったということは、まちづくりの上で教育を占めるウエートが大変大きいので、まちづくりの中の教育、この位置付けをきちんとした中で進めていってほしいということが文科省の話でした。

まさに、市長と石亀委員長が言ったような形で、市総合計画と合った形で、予算編成権を持った市長と教育分野における事業を推進し、執行していくということで、この大綱を基に進めていきたいと思っております。

教育委員の皆さん、私を含めてよろしくお願ひしたいと思っております。

○伊澤市長 それでは、大綱案について、特にご意見等がなければ、この案を決定するというようにさせていただきたいと思っております。

[「はい」と言う者あり]

○伊澤市長 ありがとうございます。

この大綱については、昨年度より4回にわたり議論を重ねてまいりまして、素晴らしい大綱が決定できたと思っております。

それでは、大綱は決定ということでご承認をいただきました。

せっかくの機会ですから、そのほかに何かございましたら、お願いします。

○その他

○米山教育長 それでは、今回、サミットの教育部会がありましたけれども、その中で日本の授業を見て、外国の文部科学省などの人達が各国から集まって、分科会みたいなことをやりましたけれども、ぜひ話してもらえますか。

○伊澤市長 お願いします。

○川嶋委員 副大臣の義家先生、ヤンキー先生ですよ、メディアでも人気、若者にも人気です。

先生のおっしゃったことは、部活動があることは、まず素晴らしいと。

特に、剣道部に感動したということと、あとはもう一つ、掃除の徹底ですよ。

子供達が、自発的に自分達の教室を掃除しているというところが、ほかの諸外国ではそのような清

掃の方がいらっしゃいますので。

そこの2点が、すごく評価が高かったということを知って、そこをやはり日本の教育の良さとして、もっとPRしていくといいのかなど。

それが、私達にとっては当たり前ですけど、諸外国にとっては、とても意外だったと。

素晴らしいということです。

○伊澤市長 掃除は日本の良い習慣で、部活動はたしか、オーストラリアとかで聞いたりすると、地域のスポーツですよ。

○米山教育長 総合型スポーツクラブですね。

○伊澤市長 そうです。そういうところで、例えば、地域でやっていると。

日本の場合は、学校でやっています。だから、恐らく学校、先生の位置付けといいますか、仕事量の問題もあるでしょう。

今は、実際どうですか。中学校の部活動といったら、ほとんど先生が携わっていますか。

○米山教育長 ほとんどは先生ですけど、やはり先生達の拘束されている時間が長過ぎて、部活動を指導している先生達です。

ただ、白井の場合は外部指導者の予算を付けてもらっているから、先生がそのスキルがない場合は、部活の顧問としてやって、そのスキルを持っている、市内に住んでいる専門家の方の予算を付けてもらっているからいいけど、予算がない市町はやはり大変らしいです。

先生が教えられるスキルを持っていなくても、部活の顧問はやらなければならないからです。

○伊澤市長 だから、素晴らしい伝統だけど、ある特定の先生に負担がたかさんかかると大変ですから、そこをうまく学校運営の中でやっていただいて。

○小林委員 多分、外国から日本を見る、または日本人が海外に行くと、いいなとか。

要するに、放課後はもう先生方は解放されているというのか、お互いに自分達の現状と外国を見てこうなっているとか、良いと言われるけれども、日本人から見ると、悪い面でもあると思います。

だから、良いと言われたから、それでは、そのままの体制ということではなくて、例えば、学校は先生等も一応部活動に携わらないと。

例えば、勤務時間で終了して、その後、学校の先生はもう別みたいな感じです。

そこに先生がいない場合には、外部から来てもらうとか、やはりそのようにしないと。

良いと言われたから、そのまま維持ということになると、先生方がやはりパンクしちゃうと思いますので。

その辺についても、確かに海外に行って、掃除夫の人達が皆やっていて、だからそうなる、生徒も教員も一切そういうものに携わらないから、その分は学習に携われるということです。

でも、ほかから見ると、つまり日本の集団型と外国の個別型との見方の違いといいますかね。

だから、良いと言われて、そのことはいいけれども、そのまま負担を残してしまうと、結局学校の先生方の負担とか、我慢とか、そのようになりますので、やはりそこところは変えてあげないと、まずいかなと思いますね。

○伊澤市長 私、その部活の話というのは、よくマスコミ等でも、ある教員にずっと負担がかかっていて、朝早くから夜遅くまでという報道もありましたので、やはり勤務時間、公務員ですからね。

教員であっても、原則、勤務時間はあると思いますので、それ以外の部分、例えば、総合型スポー

ツクラブは良いと思います。

学校にない部活の種目は、例えば、総合型で受けるとか、そのように色々と活用していれば良いかなど。

教員も時間があれば、色々なスポーツに参加するとか、何かそのようなことができたらいいのかなという気がして、ちょっと触れましたけれども。

○小林委員 教員をやっている立場として、確かに顧問がいれば、野球等も強くなる、それは事実です。

では、その先生が授業をきちんとやっているのかというと、かえってそういうところでは疎まれているという現状もあります。

それで、今の時代は、確かに宿題等も部活動できちんとやるように指導しなければいけないということで、顧問もやり始めているけれども、一昔前までは野球ではいいけれども、もうほかの面では重荷という現状はありました。

○伊澤市長 それは、学校運営に任せていただいて。

私から1点、もう皆さんは既にご存じだと思いますけれども、リオのオリンピック、いよいよです。

○石亀委員長 安藤さんですか。

○伊澤市長 白井第一小学校、白井中学校出身の安藤美希子さんが、58キロ級で決定しました。

白井市もできるだけ多くの市民を巻き込んで、皆で応援できるような体制を組んでいきたいと思っています。

ぜひ、市教育委員会においても、初めてですから、白井育ちの子がオリンピックに出るということは、市民を盛り上げて協力していただきたいですね。

昨日は、少し違うところで本人は挨拶しましたけれども、皆で盛り上げれば、1キロでも2キロでも余計に挙げることができるかもしれないですよ、皆で応援すれば。

本人のコメントでは、市の秘書広報課職員が記者会見に行きましたけれども、そのコメントの中で、安藤さんの所属しているクラス、58キロというのは、世界ではすごい強豪がいっぱいいるクラスだと。

世界的には、まだまだメダルを狙えるレベルではないけれども、頑張りたいというコメントです。

それを、ぜひ金メダルを狙ってきますぐらいまで、盛り上げて、やれば良いかなと思っていますので、本当に市教育委員会を挙げて、何とかお願いしたい。

一つは、今、色々と横断幕とか懸垂幕とかはやっています、準備しています。

あと、日程が合えば、市長室に来ていただいて、マスコミ等で色々とPRしてもらいたいということも考えていますので。

以前、世界大会で入賞したときに訪ねてきて、そのときの賞状を市長室に置いていきました。

これはいいのですかと言ったら、いや、いいですと言って、置いていきました、飾ってありますけれども。

そのときに、白井中学校に何か記念品があったらいいですねという話をしたら、すぐに寄ってきて、校長室に世界大会に行ったときのユニフォームが飾ってありますね。

本当は聞いたところ、合宿が入って、時間は取れないらしいけれども。

場合によっては帰ってきてから、色々と安藤さんに体験談を聞く会とか、白井中だけではもったいないので、市全体の子供達にそのような機会が持てれば良いかなど。

○米山教育長 文化センターでも可能ですよね。

○伊澤市長 市としても広報をして、色々とPRしていくということで、本当に皆が安藤さんを応援するような体制ができればと思っていますので。

時間は無いけれども、市教育委員会と一緒に話しながら、いい応援ができればと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○米山教育長 立春式のときに来てくれて、話も上手ですよ。あの子です。

○高城委員 はい、上手ですね。

○伊澤市長 白井中学校の立春式ですか。

○米山教育長 そうですね。

○高城委員 例年になく、子供達もやはり身近な講師の先生だから、集中していました。

○伊澤市長 良かったですね、先輩ですよ。

○高城委員 体験も手を挙げて、何人か教えていただいて。

○米山教育長 あそこまで持ってきて、やってくれたから。

○伊澤市長 すごいですね。その子達、今はまだ中学3年生ですか。

○米山教育長 当時は2年生です。

○伊澤市長 高校生ですか。

○米山教育長 高校は卒業したよね。

○高城委員 はい、卒業しました。

○米山教育長 たしか、2年位前ですか。

○高城委員 そうですね。あと、教育実習も白井中学校に来てくれました。先生達の評判は、割とすごく良かったですね。

○米山教育長 良かったですね。子供達も食いつき方が違っていたということです。

○伊澤市長 ましてや、その講師がオリンピックの選手だから。また、全然違いますよね。

○米山教育長 だから、高校の先生ではなく、義務教育の先生になってもらいたいですね。

○伊澤市長 そうですよ。

○米山教育長 オリンピックの選手が教員であれば、力強いよね。

○伊澤市長 重量挙げ以外の競技も精通しているのでしょうか。

○米山教育長 そうですね。あの子は、重量挙げで埼玉栄に行った訳ではないから。

○高城委員 そうですね。

○伊澤市長 陸上だか、何かで行ったと。

○米山教育長 全体的には、運動神経は良かったらしいですね。

○高城委員 そうです。最初、器械体操をやって、それから陸上をやっていました。

○伊澤市長 そのようなことを、来たときに言っていました。

○米山教育長 体つきを見て、誰かに誘われたと。重量挙げに合っているのではないかと。

○伊澤市長 きっと、もっと軽いクラスだと、日本では結構レベルが上らしいけど。58キロです。

○米山教育長 だから、ボクシングを見ていると、ライト級とかウエルター級とか、強い選手が一杯

いますよ。

○伊澤市長 一杯いるということですね。

日本国内には、もう敵なしですからね。楽しみです。何とか、応援したいと思います。

それでは、ほかにございますか。

なければ、これで平成28年度第1回 白井市総合教育会議を終了したいと思います。

どうもありがとうございました。

午前10時38分 閉 会